



株主の皆様へ
第123期 報告書

平成23年3月1日から平成24年2月29日まで

©「あなたへ」製作委員会



東宝株式会社

証券コード：9602

III トップインタビュー

お客さまとともに、 東宝も変わり続けます。

2012年に創立80周年を迎え、将来に向けた取り組みを続ける東宝の「いま」を島谷能成社長がお話します。

代表取締役社長
島 谷 能 成

III 震災から1年、新たなチャレンジの年へ

Q 2011年は日本全体が東日本大震災の大きな衝撃を受けた1年でした。

当社グループの事業においては、映画館や劇場への物理的な被災以上に、お客様の心理面への影響を危惧しましたが、良質な娯楽を求める多くの皆様に支えられ、2011年の映画営業部門の総興行収入は8年連続で500億円を超える成績を上げることができました。

被災したTOHOシネマズの映画館も5月には通常運営に戻り、不安定な電力事情のさなかエネルギー管理サービスの導入を行なうなど、夏季の節電対策にも取り組みました。

また期中には、義援金の寄付をはじめ被災地での映画の無料上映会、演劇のチャリティー公演等、微力ながら仕事を通じての支援をさせていただきました。

Q 2012年は年間34本の映画配給を予定しています。

老若男女のお客様に楽しんでいただけるバラエティに富んだ作品が揃いました。1ヶ月に約3本の新作は、営業・宣伝をはじめスタッフ全員の相当な力量が問われます。果敢なチャレンジですが、この1年をやり切ることで必ず大きな成果を得ると確信しています。



III 映画会社の力を発揮し、デジタル時代の可能性を拓く

Q 映画製作委員会方式もすっかり日本に定着しました。

出資する事が主体であった昔と違い、現代の映画製作委員会は、TV・出版・広告会社など異業種の皆さんが、本業とのシナジーを真剣に考える協働へと進化しています。日本映画界が開放される中、改めて我々“映画会社の力”を評価いただけるようになりました。

映画の企画製作、営業、宣伝、そして興行。全機能を持つのが“映画会社”です。我々には多様な業種の皆さんをまとめ、1+1を10にする力が求められます。近年、東宝は製作部門も含めて各部門のスキルがバランス良く強化され、有機的に連携しつつ“映画会社の力”つまり総合力を高めてきたと自負しています。その結果、多くの才能者に大切な作品を託していただき、幅広いお客様にお届けする事ができました。この良い循環を継続するため、今後も弛まぬ点検と努力を重ねていく所存です。

Q 映画館もデジタル主流の時代となりました。

TOHOシネマズ直営571スクリーン中、562スクリーンでデジタル映写機を設置済みです。時代の流れは止められません。その中で3Dへの期待は大きいものがありましたが、それ自体は表現の道具の一つに過ぎません。大切な事はお客様が何を望んでいるのかを見極めることだと思います。

一方で映画界が本格的なデジタル時代となったことで、創り手はさらに多様化し、そして映画以外のコンテンツも映画館で上映するなど、映画・映像事業の可能性が広がっています。インターネットやスマートフォンで映画を見ることも、逆に言えば映画館の魅力を再認識いただく良い機会であり、デジタル時代に相応しい新たな優れた才能、輝くスターが必ず登場すると信じています。

III お客様との新しい出会いを創り続ける

Q 演劇事業においても多角的な取り組みを続けています。

2011年に開場100年を迎えた帝国劇場では、近年では「レ・ミゼラブル」をはじめ定評ある東宝ミュージカルに加え、ジャニーズ事務所さんの公演が、斬新な作品力で動員面でも大成功を収め、また2012年には傑作「エリザベート」に続いて松任谷由実さんが登場するなど、広範な企画で世界に誇る演劇の殿堂としての魅力を発揮し続けています。また中劇場であるシアタークリエでは、ストレートプレイ、ミュージカル、コンサートと多彩なジャンルで若い才能と実験的な試みを続け、2011年も大竹しのぶさん主演「ピアフ」など優れた作品が生まれました。さらに近年は渋谷のライブハウス等で東宝プロデュース作品を上演するなど東宝の演劇事業は挑戦を続けています。

Q 2011年の国内全スクリーン数が18年ぶりに前年比減少する中、TOHOシネマズはスクリーン数を増やしています。不動産開発の観点から見ますと。

シネマコンプレックスが飽和状態と言われますが、考えるべきはいかにお客様に楽に便利に映画をご覧いただくか、街や人口動態、お客様ニーズが変わり続ける限り、スクリーン

の市場調整に終わりはありません。

東宝は創業時からの老朽化した映画館の再開発にひと段落をつけ、現在は新しい街づくりというグランドデザインのもと、2014年3月にTOHOシネマズ日本橋(9スクリーン、約1,800席)、2015年5月には当社の新宿再開発地域にTOHOシネマズ新宿(12スクリーン、約2,500席)の竣工を予定し、いずれも順調に進捗しています。グループ会社も含めて複数の大型再開発案件を検討しており、今後も慎重かつ果敢に取り組んでまいります。

III 創立80周年を迎えて

Q 株主の皆様へ。

「全てはお客様ありき」という基本方針は全く変わりません。東宝の映画・演劇、そして不動産事業も、お客様にご満足いただいて初めて陽が当たります。お客様の立場で考え続け、いつも何かを企てて画にする＝企画する会社であり続ける、そうした毎日の弛まぬ努力で少しずつ成長していく、それが我々の目指す所です。

日本では年間800本近い映画が上映され、全てが新作、新商品です。どんなにヒット作を出しても一発逆転があるのが映画・演劇事業です。これからも結果に一喜一憂せず、創業精神「朗らかに、清く正しく美しく」を実践し、回り道でも信頼関係を大切に、仕事を誠実に前進させる所存です。

株主の皆様には引き続き、ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



営業の概況

当期におけるわが国の経済は、期首に発生した東日本大震災の甚大な被害を受けて停滞し、欧州金融危機や長引く円高、不安定な電力事情の影響もあり、景気回復の動きは不透明な状況で推移いたしました。

映画業界におきましては、2011年の興行収入が1,811億余円と興収記録を更新した前年から17.9%減となり、全国の映画館数も震災の影響や独立系映画館の相次ぐ閉館等の結果18年ぶりに減少に転ずるなど厳しい経営環境となりました。

このような情勢下にあって当社グループでは、新規事業のODS配給事業や映像ソフト関連事業が寄与した映像事業部門が健闘しましたが、映画営業事業部門は「コクリコ坂から」「ステキな金縛り」等が堅調に稼働しましたものの前年度には及ばず、演劇事業、不動産事業も伸び悩みました。この結果営業収入は1,813億6千万円（前期比8.8%減）、営業利益は168億2千2百万円（前期比24.9%減）、経常利益は173億7千7百万円（前期比25.0%減）、当期純利益は98億5千2百万円（前期比13.6%減）となりました。

以下各事業部門ごとにご報告申し上げます。

■ 映画事業（映画営業事業、映画興行事業、映像事業）

映画営業事業のうち製作部門では、当社において表1の①に記載の作品のほか劇場用映画「僕等がいた」「宇宙兄弟」を共同製作し、テレビ放送用連続ドラマ「最上の命医」「ジウ 警視庁特殊班捜査係」等を制作いたしました。配給部門では、当社において表1記載の31番組32本を提供し、東宝東和(株)において「ワイルド・スピード MEGA MAX」等13本を配給いたしました。その結果、映画営業事業収入は344億2千8百万円（前期比16.4%減）となりました。

映画興行事業では、TOHOシネマズ(株)を中心にグループ各興行会社において前記各作品のほかに、「ハリー・ポッターと死の秘宝 PART2」「パイレーツ・オブ・カリビアン／生命の泉」「トランスフォーマー／ダークサイド・

表1. 当期中の提供映画作品

① 共同製作・配給作品	
SP THE MOTION PICTURE 革命篇	名探偵コナン 沈黙の15分 ^{クォーター}
GANTZ PERFECT ANSWER	岳－ガク－
プリンセス トヨトミ	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら
星守る犬	アンダルシア 女神の報復
コクリコ坂から	ロック 〜わんこの島〜
神様のカルテ	アンフェア the answer
モテキ	DOG×POLICE 純白の絆
ステキな金縛り	カイジ2 人生奪回ゲーム
映画 怪物くん	源氏物語 千年の謎
friends ものけ島のナキ	劇場版イナズマイレブンGO 究極の絆 グリフォン
ロボジー 麒麟の翼 逆転裁判	ALWAYS 三丁目の夕日'64
	日本列島 いきものたちの物語
② ①以外の当社配給作品	
映画ドラえもん 新・のび太と鉄人兵団 〜はばたけ 天使たち〜	映画クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ 黄金のスパイ大作戦
阪急電車 片道15分の奇跡	
劇場版ポケットモンスター ベストウイッシュ ビクティニと黒き英雄ゼクロム	
劇場版ポケットモンスター ベストウイッシュ ビクティニと白き英雄レシラム	
劇場版NARUTO－ナルト－ ブラッド・プリズン 炎の中忍試験！ナルトVSオノ丸!!	

ムーン」「カーズ2」「猿の惑星：創世記（ジェネシス）」「ブラック・スワン」等、邦洋画の話題作を上映いたしました結果、映画興行事業収入は540億4千7百万円（前期比14.8%減）となりました。なお、当社グループの当期中の劇場異動は次頁の表2の通りとなり、リニューアルによる劇場稼働率の向上にも努め、興行網の再構築を引き続き進展させました。これらにより、当社グループのスクリーン数は23スクリーン増の611スクリーン（共同経営56を含む。）となりました。また、デジタルシネマ化、3D方式の改善、一部劇場における新自動券売機導入等の省力化に努めました。また、エネルギー管理サービス「GeM2」やLED電球導入等の節電対策を実施、チケット販売におい

ては、インターネット予約を簡便にする“vit-ID”を取り入れ、楽天ポイントとの提携や携帯電話通話料決済等により決済手段を多様化し利便性向上に努め、他社との差別化を図りました。

表2. 当期中の劇場異動

月日	劇場名	スクリーン数	場所	経営主体	異動内容
平成23年3月13日	グランパーク 東宝8	△8	甲府市	TOHOシネマズ(株)	閉館
3月17日	TOHOシネマズ 甲府	9	山梨県中巨摩郡	TOHOシネマズ(株)	オープン
4月21日	TOHOシネマズ 上田	8	長野県上田市	TOHOシネマズ(株)	オープン
5月4日	大阪ステーションシティシネマ	12	大阪市	SMT、TOHOシネマズ、ティ・ジョイ共同経営	オープン
5月20日	TOHOシネマズ なんば・別館	(3)	大阪市	TOHOシネマズ(株)	リニューアル
7月15日	TOHOシネマズ 渋谷	(4)	渋谷区	TOHOシネマズ(株)	リニューアル
8月31日	広島宝塚	△3	広島市	関西共栄興行(株)	閉館
12月1日	TOHOシネマズ 渋谷	2	渋谷区	TOHOシネマズ(株)	増館
平成24年1月21日	TOHOシネマズ天神／本館・ソラリア館	(6)3	福岡市	TOHOシネマズ(株)	リニューアル増館

（ ）はリニューアルしたスクリーン数

映像事業の映像ソフト事業は、当社において表3ほかの提供を行いました。出版・商品事業は、劇場用パンフレット、キャラクターグッズにおいて「名探偵コナン 沈黙の15分」「コクリコ坂から」「劇場版ポケットモンスター ベストウイッシュ ビクティニと黒き英雄ゼクロム／ビクティニと白き英雄レシラム」「映画 怪物くん」「ALWAYS 三丁目の夕日'64」を始めとする当社配給作品が、洋画では「トランスフォーマー／ダークサイド・ムーン」「カーズ2」「ミッション：インポッシブル／ゴースト・プロトコル」等が、また東宝カレンダー2012年版が順調に稼働いたしました。ODS等の配給事業では、「きかんしゃトーマス ミスティアイランド レスキュー大作戦!!」「監督失格」「き

みはペット」（配給協力）「DOCUMENTARY of AKB48 Show must go on 少女たちは傷つきながら、夢を見る」「POV～呪われたフィルム～」等12作品を配給いたしました。版權事業は「東宝怪獣キャラクター」等の商品化収入に加え、「名探偵コナン 沈黙の15分」「GANTZ PERFECT ANSWER」等に製作出資し、各種配分金収入がありました。また、(株)東宝映像美術、東宝舞台(株)、(株)東宝コスチューム等各社では、主要な取引先であるテレビ局、テーマパークなどの予算抑制により非常に厳しい状況が続いておりますが、コスト削減と新規案件の受注に努めました。その結果、映像事業収入は235億2千9百万円（前期比0.7%減）となりました。

以上の結果、映画事業収入は1,120億5百万円（前期比12.7%減）となりました。

表3. 当社において当期中に提供した主なビデオ作品

作品・商品名	年	レンタル用DVD/Blu-ray(リリース日)	販売用DVD/Blu-ray(発売日)
悪人	平成23年	3月4日	3月18日
キック・アス		－	3月18日
まんが日本昔ばなし 第1集・第2集		8月5日(第1集)	4月1日
トキメキ☆成均館スキャンダル DVD-BOX		－	4月22日
DOCUMENTARY of AKB48 to be continued 10年後、少女たちは今の自分に何を思うのだろう？		5月13日	4月22日
十三人の刺客		5月13日	5月27日
SPACE BATTLESHIP ヤマト		6月24日	－
GANTZ		7月13日	－
あしたのジョー		8月5日	8月19日
マジすか学園2 DVD-BOX		9月9日	8月19日
GANTZ PERFECT ANSWER		10月14日	－
名探偵コナン 沈黙の15分 次郎長三国志 第一集		10月14日	－
岳－ガク－		－	10月28日
勇者ヨシヒコと魔王の城 DVD-BOX		11月10日	11月25日
伊丹十三 FILM COLLECTION Blu-ray BOX		11月10日	11月25日
星守る犬	平成24年	12月9日	12月16日
UN-GO		2月17日	1月27日
神様のカルテ		2月17日	2月24日



■ 「コクリコ坂から」
©2011 高橋千鶴・佐山哲郎・GNDHDDT



■ 「モテキ」
©2011 映画「モテキ」製作委員会



■ 「ステキな金縛り」
©2011 フジテレビ 東宝



■ 「ワイルド・スピード MEGA MAX」
©2011 Universal Studios. ALL RIGHTS RESERVED.



■ 「ジウ 警視庁特殊捜査係」
©「ジウ」 菅田哲也／中央公論新社・テレビ朝日・東宝



■ 「星守る犬」
Blu-ray 好評発売中 4,935円(税込)
発売元：電通 販売元：東宝

■ 演劇事業

演劇事業では、東日本大震災の影響により3月の帝国劇場における堂本光一主演「Endless SHOCK」28公演が、シアタークリエにおける井上芳雄主演「ウェディング・シンガー」5公演が中止となりました。4月以降の帝国劇場は、ロンドンオリジナル演出版としては最後の公演となる「レ・ミゼラブル」「三銃士」が評判を呼び、9月「DREAM BOYS」は完売、12月は「ダンス オブ ヴァンパイア」が帝国劇場開場100周年記念公演のラストを飾り、1月「新春 滝沢革命」、2月「Endless SHOCK」も大盛況となりました。シアタークリエでは、「みんなクリエに来てクリエ」が完売、「風を結んで」[姉妹たちの庭で]が高い舞台成果の作品となりました。また大竹しのぶ主演「ピアフ」が連日満員となり、「GOLD～カミューとロダン～」は高い評価を受け、「ハムレット」が大ヒットとなりました。日生劇場では「ラ・カージュ・オ・フォル」[ABC座 星(スター)劇場]が盛況となりました。また社外の公演にしましては、震災の影響があったものの、「ゾロ」「風と共に去りぬ」「三銃士」等が部門収益に寄与いたしました。一方東宝芸能㈱では、厳しい環境下で営業努力を続けた結果、下期以降所属俳優のCM、ドラマでの稼働が持ち直しつつあり、㈱コマ・スタジオでは、地方公演を積極的に展開しましたが、演劇事業収入は127億5千3百万円(前期比5.8%減)となりました。

■ 不動産事業 (不動産賃貸事業、道路事業、不動産保守・管理事業)
不動産賃貸事業では、当社の不動産経営部門において、9月に「京都東宝公衆ビル」「ロイヤルパークホテル ザ 京都」が竣工し業績に寄与、12月には「辻東シネタワー」のリニューアル工事も完了いたしました。「旧新宿コマ劇場」及び「旧新宿東宝会館」跡地については、7月に「新宿東宝ビル開発計画」を発表、9月には「広島宝塚会館」の再開発に向けて、解体工事にも着手いたしました。オフィス賃貸業界においては、引き続き「借り手市場」という厳しい状況にありますが、丁寧な営業活動を行うことによって収益の維持に努力いたしました。東宝スタジオでは足かけ8年にわたった「東宝スタジオ改造計画」が前期末に完了し、今期から全10ステージ・2ダビング体制で新たなスタートを切りました。ま

た敷地の有効利用・集約化を進めた結果、約2,500坪の敷地を商業地として活用できるようになり、スーパーマーケット「サミットストア成城店」が10月にオープンしてスタジオ事業の収益性を高めています。当期は震災の影響もあって映画関連収入が全般的に伸び悩みましたが、同スタジオを拠点として製作された作品は、「宇宙兄弟」「あなたへ」「踊る大捜査線 THE FINAL」「BRAVE HEARTS 海猿」など当社配給作品を中心に55本となり、またCMIは積極的な営業展開の結果173本を誘致し、前年の131本から大きく増えました。また東宝不動産㈱においては、ビル諸設備等の効果的な改修・改善、テナントへのきめ細かな対応を図るとともに、新規優良物件の取得・開発に努めるなど積極的な営業活動を展開し、さらに全国各地で不動産賃貸事業に関わる連結各子会社も、営業努力を続けました。その結果、不動産賃貸事業収入は288億6千6百万円(前期比2.4%増)となりました。

道路事業では、自治体の公共事業費の予算削減により、発注件数の減少が続く厳しい事業環境の中、スバル興業㈱とその連結子会社が各分野において積極的な営業活動を展開し、高速道路を中心に道路の維持・清掃及び補修工事等の受注に努めました。また、冬季の除雪・凍結対策作業が収益に貢献し増益を果たしましたが、道路事業収入は171億9千1百万円(前期比3.6%減)となりました。

不動産保守・管理事業では、不動産市況の低迷による厳しい経営環境のもと、東宝ビル管理㈱、㈱東宝サービスセンターにおいて新規事業に積極的に取り組むなど努力を重ねましたが、不動産保守・管理事業収入は93億4千5百万円(前期比6.4%減)となりました。

以上の結果、不動産事業収入は554億3百万円(前期比1.1%減)となりました。

■ その他事業

娯楽事業及び物販・飲食事業では、消費者の低価格志向が依然続く中、各種イベントの企画などで顧客増を図り、リニューアルした東宝共栄企業㈱の「東宝調布スポーツパーク」が順調に稼働いたしました結果、その他事業収入は11億9千8百万円(前期比9.8%増)となりました。

来期の見通し

今後のわが国経済は、東日本大震災からの復興需要の高まり、円高の修正傾向や米経済の復調など、景気回復基調への足固めが出来つつありますが、依然不安定な電力供給、原油高など予断の許さない要因を抱えております。

映画業界におきましては、不振に陥った昨年の興行状況を一扫するべく各社がしのぎを削る中、当社グループでは、期待の「BRAVE HEARTS 海猿」「踊る大捜査線 THE FINAL」等を始めとする各作品を提供し、お客様のご期待に応えるべく努めてまいります。

そのような中、当社グループの通期における業績見通しは、営業収入1,820億円(前期比0.4%増)、営業利益170億円(前期比1.1%増)、経常利益180億円(前期比3.6%増)、当期純利益は85億円(前期比13.7%減)をそれぞれ予想いたしております。

以下各事業部門別の見通し(2月末現在)をご説明申し上げます。

■ 映画事業 (映画営業事業、映画興行事業、映像事業)

映画営業事業の製作部門では、当社において表4の①記載の作品に加え「だいじょうぶ3組」「プラチナデータ」「奇跡のリング」他の劇場用映画を共同製作するほか、テレビ放送用連続ドラマ「罪と罰」他を制作いたします。配給部門では当社において表4記載の作品を提供する予定をいた

表4. 来期提供予定映画作品

① 共同製作・配給作品	
ライアーゲーム -再生-	僕等がいた 前篇
劇場版SPEC ～天～	名探偵コナン 11人目のストライカー
僕等がいた 後篇	テルマエ・ロマエ
宇宙兄弟	ガール
映画 ホタルノヒカリ	BRAVE HEARTS 海猿
おおかみこどもの雨と雪	エイトレンジャー
Another アナザー	あなたへ
ツナグ	終の信託
のぼうの城	悪の教典
任侠ヘルパー THE MOVIE	綱引いちやった!
今日、恋をはじめます	劇場版 青の祓魔師 (仮)
② ①以外の当社配給作品	
映画 ドラえもん のび太と奇跡の島 ～アニマルアドベンチャー～	映画 クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ! オラと宇宙のプリンセス
劇場版 ポケットモンスター ベストウイッシュ キュレムVS聖剣士ケルディオ メロエッタのキラキラリサイタル	
ROAD TO NINJA -NARUTO THE MOVIE-	踊る大捜査線 THE FINAL 新たな希望

しております。また、東宝東和㈱においては「メン・イン・ブラック3」「47 RONIN」等の配給を予定しております。これらにより、映画営業事業収入は382億円(前期比11.0%増)を見込んでおります。

映画興行事業では、TOHOシネマズ㈱を中心とするグループ各興行会社が前記配給作品に加え、「アメイジング・スパイダーマン」「ダークナイト・ライジング」等の大作、話題作を上映する予定です。これらにより、映画興行事業収入は544億円(前期比0.7%増)を見込んでおります。



■ 帝国劇場「レ・ミゼラブル」



■ シアタークリエ「ハムレット」



■ 東宝スタジオ商業開発「サミットストア成城店」



■ 「宇宙兄弟」
©2012「宇宙兄弟」製作委員会



■ 「おおかみこどもの雨と雪」
©2012「おおかみこどもの雨と雪」製作委員会



■ 「踊る大捜査線 THE FINAL」
©2012 フジテレビジョン アイ・エヌ・ピー

来期TOHOシネマズ(株)では、デジタルシネマによる効率的な運営と自動券売機の設置により省力化を推進し、デジタル化によるODSのコンテンツ上映の増加、新タイプのカード型前売券「ムビチケ」発売やスマートフォンへの対応等、お客様のニーズに応える数々の新サービスを投入することで、競合の激化する経営環境において映画興行事業の強化を進めてまいります。一方、当社グループの来期中の劇場異動予定は表5の通りとなり、引き続き興行体制の強化に努めてまいります。

表5. 来期中の劇場異動予定

月日	劇場名	スクリーン数	場所	経営主体	異動内容
平成24年4月26日	TOHOシネマズ福津	10	福岡県福津市	TOHOシネマズ(株)	オープン
8月31日	TOHOシネマズトリアス久山	△14	福岡県糟屋郡	TOHOシネマズ(株)	閉館

映像事業のうち映像ソフト事業は、レンタル及び販売用作品として「モテキ」「ステキな金縛り」「源氏物語 千年の謎」「フレンズ もののけ島のナキ」「DOCUMENTARY of AKB48 Show must go on 少女たちは傷つきながら、夢を見る」TVアニメ「アニメ テルマエ・ロマエ」「ブラック★ロックシューター」等バラエティに富んだ作品群を提供いたします。出版・商品事業は「宇宙兄弟」「BRAVE HEARTS 海猿」「劇場版ポケットモンスター ベストウイッシュ キュレムVS聖剣士ケルディオ」「おおかみこどもの雨と雪」等当社配給作品を中心に展開し、収益増を図ります。著作権事業は、キャラクタービジネスの拡大に注力す

るとともに、既存版權の活性化を目指します。またODS等の配給事業のラインアップの拡充に努めます。また、(株)東宝映像美術、東宝舞台(株)、東宝アド(株)等各社で、コスト削減努力を継続しつつ積極的な営業活動に取り組んでまいります。以上から、映像事業収入は213億円（前期比9.5%減）を見込んでおります。

これらの結果、映画事業収入は1,139億円（前期比1.7%増）を見込んでおります。

■ 演劇事業

演劇事業では、帝国劇場にて2月から引続き3、4月に堂本光一主演「Endless SHOCK」、5、6月はウィーン初演から20年目を迎える「エリザベート」、7月は新演出版「ルドルフ ザ・ラスト・キス」、8月は上演回数1,200回を迎える「ラ・マンチャの男」、9月は亀梨和也主演「DREAM BOYS」、10月は松任谷由実出演の新たなエンターテインメント「夏休み最後の日」（仮題）等の充実した舞台を繰り広げます。シアタークリエでは3月に内野聖陽、田中圭出演の「幻蝶」、4月以降は「道化の瞳」「ジャニーズ銀座『Youの前にはMeがいる！』」「飛び加藤～幻惑使いの不惑の忍者～」「ええから加減」「ソングス・フォー・ア・ニュー・ワールド」「CLUB SEVEN 8th stage!」「ダディ・ロング・レッグズ ～足ながおじさんより～」「RENT」「ラストダンス～the musical 越路吹雪～」等バラエティ溢れる作品をお届けします。さらに日生劇場

「ジキル&ハイド」「シラノ」、青山劇場「ミス・サイゴン」のほか「9to5」「菊次郎とさき」「サ・ビ・タ」等、東宝演劇公演を積極的に全国へと展開いたします。また東宝芸能(株)では、TV、舞台等での所属俳優の稼働拡大に向けて積極的な営業活動を展開してまいります。

これらの結果、演劇事業収入は123億円（前期比3.6%減）を見込んでおります。

■ 不動産事業（不動産賃貸事業、道路事業、不動産保守・管理事業）

不動産賃貸事業では当社の不動産経営部門において、再開発中の「新宿東宝ビル」及び「（仮称）広島東宝ビル」について鋭意工事を進捗させます。また、その他全国に所有する不動産についても、長期的な視野に立った設備改修や企画立案を通し、有効活用に努めます。東宝スタジオでは、景気低迷の影響を受けて、映画製作現場をとりまく環境は日増しに厳しくなっておりますが、来期も当社配給作品を中心に、TVドラマ、CMなども積極的に取り込みながら、今後も製作現場の期待に応えてまいります。また東宝不動産(株)においては、テナントに対するきめ細かな対応と意思の疎通に心がけるなど積極的な営業活動を推進するとともに、収益性・将来性に優れた新規賃貸物件の取得・開発に努め、事業規模の拡大と収益の確保を目指してまいります。さらに、全国各地で不動産賃貸事業に関わる連結各子会社においても営業努力を続けてまいります。これらの結果、不動産賃貸事業収入は290億円（前期比0.5%増）

を見込んでおります。

道路事業では、スバル興業(株)とその連結子会社において、依然として国や地方自治体の財政事情は厳しい状況が続くものと予想される中、工事の効率化に努め、受注拡大を図ってまいります。道路事業収入は164億円（前期比4.6%減）を見込んでおります。

不動産保守・管理事業では、低価格競争が続く事業環境下において、東宝ビル管理(株)及び(株)東宝サービスセンターでは、コスト削減とともに、改装工事などの新規事業に取り組んでまいります。不動産保守・管理事業収入は92億円（前期比1.6%減）を見込んでおります。

以上の結果、不動産事業収入は546億円（前期比1.5%減）を見込んでおります。

■ その他事業

娯楽事業及び物販・飲食事業は、個人消費の回復にはまだ道半ばという状況ですが、東宝共栄企業(株)、(株)東宝エンタープライズ等において、積極的にイベント等を企画し、動員拡大を図ってまいります。その他事業収入は12億円（前期比0.1%増）を見込んでおります。

（注：本報告書中の記載金額及び株式数は、表示単位未満を切捨てております。）



■ 「アメイズング・スパイダーマン」
© 2011 Columbia Pictures Industries, Inc. All Rights Reserved.



■ 「フレンズ もののけ島のナキ」
豪華版 Blu-ray 6月29日発売 7,035円（税込）
発売元：小学館 販売元：東宝



■ 「アニメ テルマエ・ロマエ I」
Blu-ray 好評発売中 4,935円（税込）
発売元：フジテレビ・東宝 販売元：東宝



■ 帝国劇場「エリザベート」
Photo by Leslie Kee



■ シアタークリエ「道化の瞳」



■ （仮称）広島東宝ビル

連結貸借対照表

科目	当 期	前 期
	平成24年2月29日 現在	平成23年2月28日 現在
資産の部		
流動資産	81,455	78,544
現金及び預金	10,676	9,470
受取手形及び売掛金	13,674	14,741
リース投資資産	11,712	9,632
有価証券	6,195	4,996
たな卸資産	4,010	4,789
繰延税金資産	2,611	3,513
現先短期貸付金	25,493	24,997
その他	7,289	6,622
貸倒引当金	△207	△219
固定資産	239,545	250,659
有形固定資産	157,982	158,528
建物及び構築物	94,222	92,321
機械装置及び運搬具	3,718	3,564
器具及び備品	2,433	2,059
土地	55,732	55,498
リース資産	473	677
建設仮勘定	1,403	4,406
無形固定資産	7,835	8,312
借地権	1,026	1,026
のれん	5,185	5,656
リース資産	27	39
その他	1,596	1,589
投資その他の資産	73,726	83,818
投資有価証券	50,650	61,507
繰延税金資産	2,201	1,009
差入保証金	15,896	16,089
その他	6,155	6,037
貸倒引当金	△1,177	△824
資産合計	321,000	329,204

1 投資有価証券

前期末に対し、10.856百万円減少しておりますが、これは主に保有株式の含み益が減少したことによるものです。

2 資産除去債務

当期より「資産除去債務に関する会計基準」等の適用をしております。

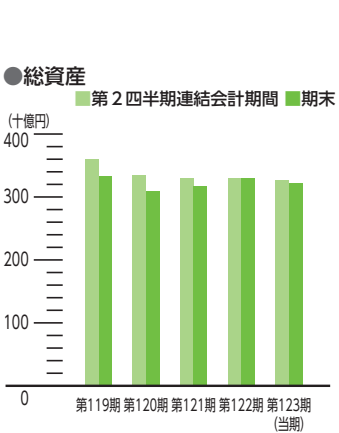
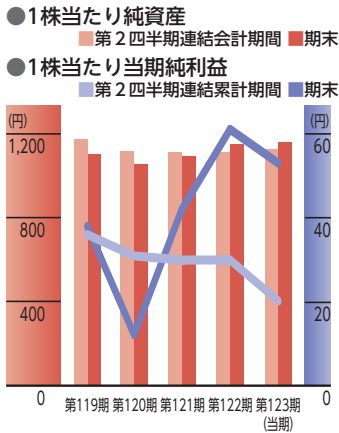
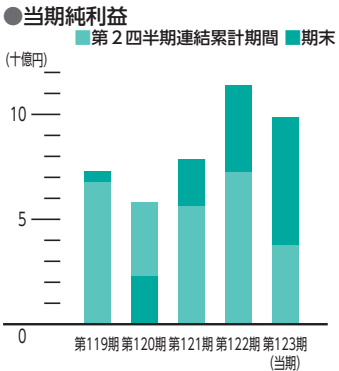
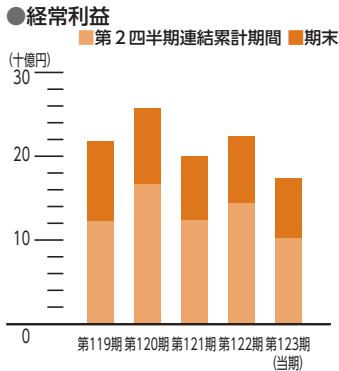
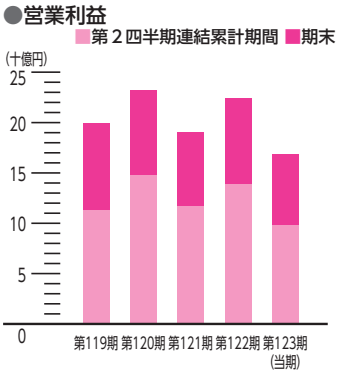
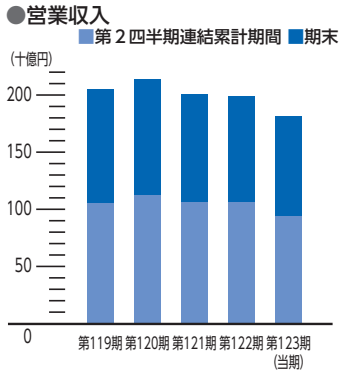
科目	当 期	前 期
	平成24年2月29日 現在	平成23年2月28日 現在
負債の部		
流動負債	31,243	42,269
買掛金	11,565	11,886
短期借入金	134	115
1年以内返済予定長期借入金	550	615
リース債務	227	221
未払金	3,164	5,075
未払費用	4,311	4,864
未払法人税等	1,432	6,523
未払消費税等	258	523
賞与引当金	837	864
役員賞与引当金	3	6
固定資産撤去損失引当金	1,354	3,537
退店補償損失引当金	—	650
工事損失引当金	14	13
資産除去債務	839	—
預り保証金(1年内返還)	872	1,467
その他	5,677	5,906
固定負債	53,147	51,279
社債	10,000	10,000
長期借入金	75	610
繰延税金負債	8,201	11,017
リース債務	333	552
退職給付引当金	3,000	3,066
役員退職慰労引当金	311	372
PCB処理引当金	769	780
退店補償損失引当金	650	—
資産除去債務	5,722	—
預り保証金	23,168	23,816
その他	915	1,063
負債合計	84,390	93,549
純資産の部		
株主資本	208,207	203,615
資本金	10,355	10,355
資本剰余金	13,837	13,837
利益剰余金	189,218	183,100
自己株式	△5,204	△3,678
その他の包括利益累計額	7,105	11,021
その他有価証券評価差額金	6,105	10,129
土地再評価差額金	1,003	891
為替換算調整勘定	△3	—
少数株主持分	21,296	21,018
純資産合計	236,609	235,655
負債・純資産合計	321,000	329,204

連結損益計算書

科目	当 期	前 期
	平成23年3月1日から 平成24年2月29日まで	平成22年3月1日から 平成23年2月28日まで
営業収入	181,360	198,953
営業原価	111,308	122,814
売上総利益	70,052	76,138
販売費及び一般管理費	53,229	53,734
営業利益	16,822	22,403
営業外収益	1,119	1,123
営業外費用	564	349
経常利益	17,377	23,178
特別利益	2,630	755
特別損失	5,403	3,432
税金等調整前当期純利益	14,605	20,500
法人税、住民税及び事業税	5,322	8,618
法人税等調整額	△932	△285
少数株主損益調整前当期純利益	10,215	—
少数株主利益	363	768
当期純利益	9,852	11,399

3 特別損失

資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額3,042百万円、災害による損失566百万円等でございます。



連結株主資本等変動計算書

(平成23年3月1日から平成24年2月29日まで)

(単位：百万円)

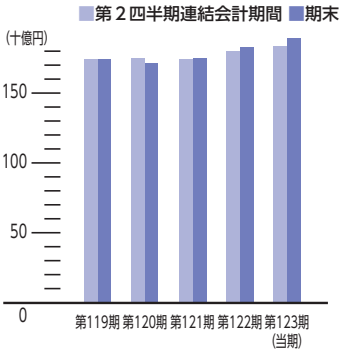
	株 主 資 本					その他の包括利益累計額				少数株主 持 分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	土 地 再 評 価 差 額 金	為 替 換 算 調 整 勘 定	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
平成23年2月28日残高	10,355	13,837	183,100	△3,678	203,615	10,129	891	－	11,021	21,018	235,655
当連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△3,734		△3,734				－		△3,734
当期純利益			9,852		9,852				－		9,852
自己株式の取得				△1,533	△1,533				－		△1,533
持分法適用会社に対する持分 変動に伴う自己株式の増減				7	7				－		7
株主資本以外の項目の当連結 会計年度中の変動額（純額）					－	△4,024	112	△3	△3,915	278	△3,637
当連結会計年度中の変動額合計	－	－	6,118	△1,526	4,591	△4,024	112	△3	△3,915	278	954
平成24年2月29日残高	10,355	13,837	189,218	△5,204	208,207	6,105	1,003	△3	7,105	21,296	236,609

連結キャッシュ・フロー計算書

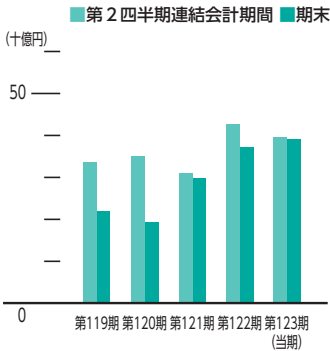
(単位：百万円)

科目	当 期	前 期
	平成23年3月1日から 平成24年2月29日まで	平成22年3月1日から 平成23年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,062	28,141
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,924	△15,807
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,433	△4,857
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	△30
現金及び現金同等物の増減額	1,696	7,446
現金及び現金同等物の期首残高	37,220	29,773
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額	0	－
現金及び現金同等物の期末残高	38,917	37,220

●利益剰余金残高



●現金及び現金同等物の残高



映画製作・配給

(株)東宝映画…………… 映画の製作
東宝東和(株)…………… 洋画の輸入・配給
(株)東京現像所…………… フィルムの現像、CG・デジタル合成などの処理

映画興行

TOHOシネマズ(株)… TOHOシネマズ日劇・TOHOシネマズ六本木ヒルズ・
TOHOシネマズ梅田などの映画館経営
北海道東宝(株)…………… 恵庭東宝シネマ8の経営
関西共栄興行(株)……… 松江SATY東宝・米子駅前SATY東宝の経営

映像の製作・販売

東宝ミュージック(株)… 映画・ミュージカルなどの音楽製作、音楽原盤・著作権の管理
(株)東宝映像美術……… 映画・テレビ・CMなどの美術製作、テーマパーク・
イベントの企画・デザイン・施工
(株)東宝コスチューム… 映画・テレビ・イベント・テーマパークなどの衣裳
の製作・レンタル
東宝舞台(株)…………… 演劇・テレビなどの舞台美術・小道具・衣裳の製作
東宝アド(株)…………… テレビ・新聞・雑誌など広告媒体の取扱代理業、映像・
ポスターなど各種宣伝広告物の企画・デザイン・制作
(株)東宝ステラ…………… 東宝作品のビデオ・パンフレット・キャラクター商
品などの流通・販売、映画原版・プリントの管理

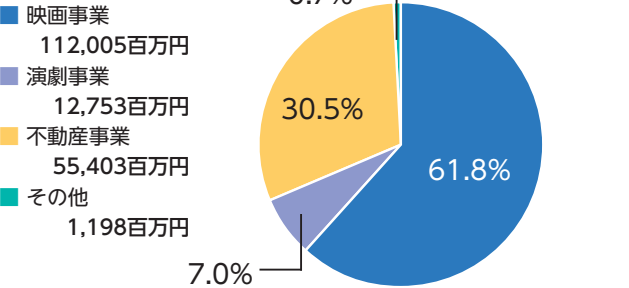
演劇事業

東宝芸能(株)…………… 映画・演劇・テレビなどへの俳優の斡旋、演劇の企
画・製作、イベントの企画・製作
(株)東宝エージェンシー… 演劇公演の団体入場券の斡旋・販売
(株)コマ・スタジアム… 演劇の制作、ビルの賃貸

不動産の賃貸等

国際放映(株)…………… スタジオのレンタル、テレビ番組の企画・制作
三和興行(株)…………… 新宿三丁目東宝ビル・新宿文化ビルの賃貸
東宝不動産(株)…………… 東宝ツインタワービル・帝劇ビルなど不動産の賃貸、劇
場内売店の経営、飲食店の経営、保険代理業、介護事業
萬活土地起業(株)……… 長崎・熊本・鹿児島におけるビルの賃貸

●当期事業部門別営業収入比率



道路事業

スバル興業(株)…………… 道路の維持清掃及び補修工事、飲食店の経営、有楽
町スバル座の経営

不動産の保守・管理

(株)東宝サービスセンター・ビルの管理・清掃・警備（東京・仙台・北海道など）
東宝ビル管理(株)……… ビルの管理・清掃・警備（近畿・中部・九州など）

飲食・娯楽事業

東宝共栄企業(株)……… 東宝調布スポーツパークの経営
(株)東宝エンタープライズ・東宝ダンスホールの経営
東宝フーズ(株)…………… ベーカリーショップの経営、劇場コンセッション用
及び一般食材等の販売

持分法適用会社

オーエス(株)…………… OSシネマズミント神戸などの映画館経営、OSビル
など不動産の賃貸、梅田OSホテルの経営
(株)東京楽天地…………… 錦糸町楽天地ビルなど不動産の賃貸、TOHOシネマ
ズ錦糸町など映画館、温浴施設などの経営

(上記を含めて合計 連結子会社38社、持分法適用会社4社)

貸借対照表

科目	当 期	前 期
	平成24年2月29日 現在	平成23年2月28日 現在
資産の部		
流動資産	57,303	53,689
現金及び預金	3,256	3,762
受取手形及び売掛金	6,264	6,621
リース投資資産	8,253	6,213
有価証券	2,849	1,633
たな卸資産	3,019	3,378
繰延税金資産	1,958	2,314
現先短期貸付金	25,493	24,997
関係会社短期貸付金	2,798	2,061
1年以内回収予定関係会社長期貸付金	556	556
その他	2,932	2,266
貸倒引当金	△ 79	△117
固定資産	173,364	184,065
有形固定資産	85,095	88,189
建物及び構築物	63,279	62,913
機械装置及び運搬具	911	1,096
器具及び備品	556	547
土地	20,345	20,345
建設仮勘定	3	3,286
無形固定資産	1,836	1,963
借地権	925	925
その他	911	1,037
投資その他の資産	86,432	93,912
投資有価証券	36,825	47,338
関係会社株式	31,208	31,308
長期貸付金	440	550
関係会社長期貸付金	15,416	12,274
差入保証金	1,505	1,536
その他	1,205	1,145
貸倒引当金	△170	△242
資産合計	230,667	237,754

1 投資有価証券

前期末に対し10,512百万円減少しておりますが、これは主に保有株式の含み益が減少したことによるものです。

2 資産除去債務

当期より「資産除去債務に関する会計基準」等の適用をしております。

(単位：百万円)

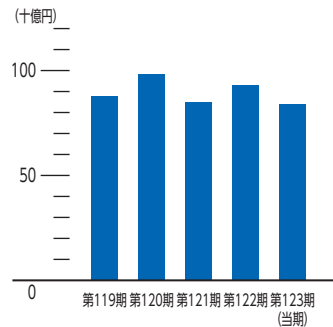
科目	当 期	前 期
	平成24年2月29日 現在	平成23年2月28日 現在
負債の部		
流動負債	38,499	40,180
買掛金	5,243	5,186
関係会社短期借入金	11,455	13,982
1年以内返済予定関係会社長期借入金	10,650	2,995
未払金	1,040	1,725
未払費用	3,495	3,471
未払法人税等	—	4,474
賞与引当金	283	282
固定資産撤去損失引当金	1,354	3,520
資産除去債務	839	—
その他	4,137	4,544
固定負債	32,941	40,565
社債	10,000	10,000
関係会社長期借入金	3,869	11,324
繰延税金負債	653	2,556
退職給付引当金	1,020	949
PCB処理引当金	653	654
未払役員退職慰労金	234	398
資産除去債務	2,036	—
預り保証金	14,327	14,682
その他	146	—
負債合計	71,440	80,745
純資産の部		
株主資本	153,510	147,325
資本金	10,355	10,355
資本剰余金	10,626	10,626
資本準備金	10,603	10,603
その他資本剰余金	23	23
利益剰余金	137,357	129,638
利益準備金	2,588	2,588
その他利益剰余金	134,768	127,050
土地圧縮積立金	264	243
建物圧縮積立金	62	59
別途積立金	110,465	105,465
繰越利益剰余金	23,977	21,282
自己株式	△4,828	△3,295
評価・換算差額等	5,716	9,682
その他有価証券評価差額金	5,716	9,682
純資産合計	159,226	157,008
負債・純資産合計	230,667	237,754

損益計算書

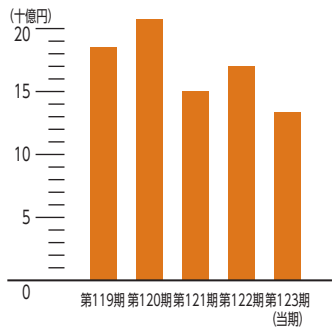
(単位：百万円)

科目	当 期	前 期
	平成23年3月 1 日から 平成24年2月29日まで	平成22年3月 1 日から 平成23年2月28日まで
営業損益		
営業収入	84,167	93,017
営業原価	49,451	55,317
売上総利益	34,715	37,699
販売費及び一般管理費	24,266	24,863
営業利益	10,449	12,836
営業外損益		
収入利息及び配当金	3,269	4,816
その他の営業外収益	94	72
営業外収益計	3,363	4,889
支払利子	266	285
その他の営業外費用	80	109
営業外費用計	346	394
経常利益	13,465	17,330
特別利益		
有価証券清算益	—	14
投資有価証券売却益	2,268	7
関係会社株式売却益	443	—
特別利益計	2,712	21
特別損失		
PCB処理引当金繰入額	—	601
固定資産撤去損失引当金繰入額	101	450
固定資産取壊費用	—	173
投資有価証券評価損	157	296
減損損失	—	293
固定資産除却損	—	165
固定資産臨時償却費	—	156
立退補償金	353	144
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,065	—
災害による損失	76	—
その他	—	332
特別損失計	1,754	2,613
税引前当期純利益	14,422	14,738
法人税・住民税及び事業税	2,460	5,066
法人税等調整額	510	△819
当期純利益	11,452	10,491

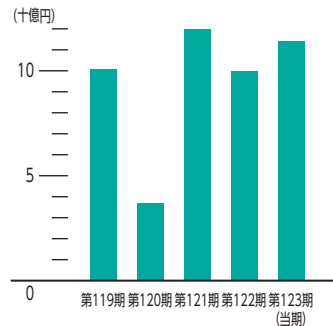
●営業収入



●経常利益

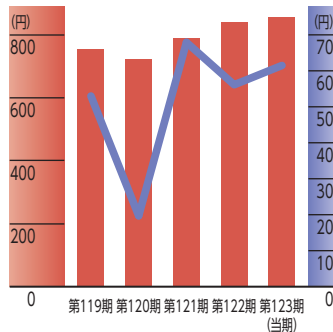


●当期純利益

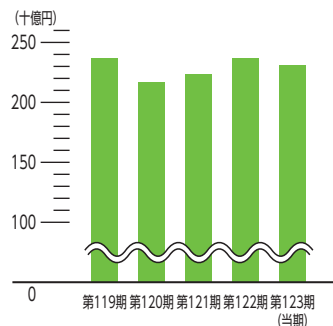


●1株当たり純資産

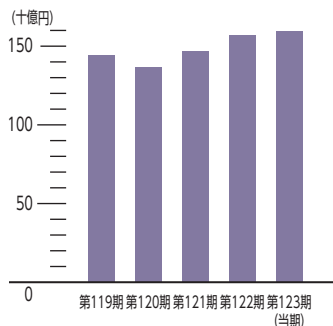
●1株当たり当期純利益



●総資産



●純資産



Non-Consolidated Financial Statements

株主資本等変動計算書

(平成23年3月1日から平成24年2月29日まで)

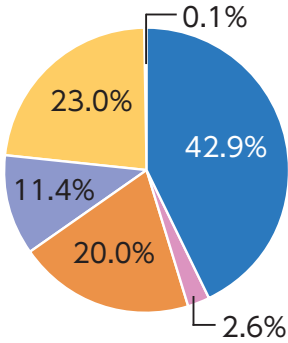
(単位：百万円)

	株 主 資 本												評価・換算 差 額 等	純資産合計
	資本金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金						自己株式	株主資本 合 計		
		資本準備金	そ の 他 資本剰余金	資本剰余金 合 計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金 合 計				
						土地圧縮 積 立 金	建物圧縮 積 立 金	別途積立金	繰越利益 剰 余 金					
平成23年2月28日残高	10,355	10,603	23	10,626	2,588	243	59	105,465	21,282	129,638	△3,295	147,325	9,682	157,008
当事業年度中の変動額														
別途積立金の積立				－				5,000	△5,000	－		－		－
剰余金の配当				－					△3,734	△3,734		△3,734		△3,734
税率変更による土地 圧縮積立金の増加						20			△20	－		－		－
税率変更による建物 圧縮積立金の増加							4		△4	－		－		－
建物圧縮積立金の取崩				－			△1		1	－		－		－
当期純利益				－					11,452	11,452		11,452		11,452
自己株式の取得				－						－	△1,533	△1,533		△1,533
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動額（純額）				－						－		－	△3,966	△3,966
当事業年度中の変動額合計	－	－	－	－	－	20	3	5,000	2,694	7,718	△1,533	6,184	△3,966	2,218
平成24年2月29日残高	10,355	10,603	23	10,626	2,588	264	62	110,465	23,977	137,357	△4,828	153,510	5,716	159,226

●東宝(株)当期部門別営業収入比率

- 映画製作・映画営業 …… 370億円
- 映画企画 …………… 22億円
- 映像事業 …………… 172億円
- 演劇興行 …………… 98億円
- 不動産経営・スタジオ …… 198億円
- その他 …………… 1億円

(各部門とも数字は内部振替控除前のものです。)



配当金について

配当金につきましては、別紙のとおり、1株15円として定時株主総会においてご決議いただきました。
当社といたしましては一層の経営の充実をはかり、業績向上を期すべく努力いたす所存でございます。なにとぞ益々のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

配当金のお支払いにつきましては、特にご指定のない方は同封の配当金領収証により、払渡期間（平成24年5月25日～平成24年6月25日）中に、ゆうちょ銀行全国本店及び出張所並びに郵便局にてお受け取りください。（同領収証を、お取引の貯金口座のあるゆうちょ銀行または預金口座のあるその他銀行窓口にお持ちいただくことにより、その口座へ入金することもできます。）
また、銀行預金口座振込をご指定の方は同封の「配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」によりご確認ください。

来期の配当予想について

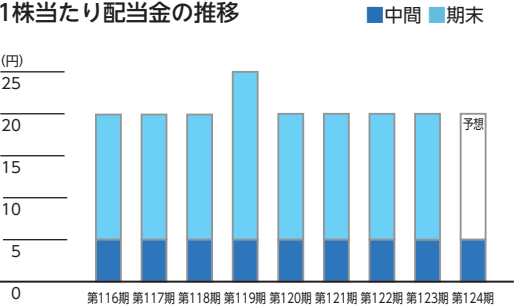
第124期の配当予想につきましては、1株当たり中間5円（普通配当）、期末15円（普通配当5円、特別配当10円）の計20円を予想いたしております。

会社の利益配分の基本方針

当社グループの主要事業であります映画・演劇は、作品により損益の変動が絶えず、安定配当確保と財務体質強化のため内部留保に努めてまいりましたが、収益に対しバランスの取れた株主還元を行うことも重要と認識しております。
かかる方針のもとに当社は第99期（昭和62年）より年

額100円の配当を続けてまいりました。また平成14年4月には投資単位引下げのため1：10の株式分割を実施し、第114期（平成14年）は創立70周年記念配10円を合わせ年額20円の配当を実施、第115期は3円の特別配当を含め年額13円の配当を行いました。さらに第116期、第117期及び第118期は好業績を反映させた10円の特別配当を含め、年額20円の配当を行い、第119期は10円の特別配当及び創立75周年記念配5円を含め、年額25円の配当を行いました。第120期から第123期も10円の特別配当を含めた年額20円の配当を行いました。
今後も年額10円の普通配当を堅持しつつ、業績と資金需要に意を配りながら株主還元を努めてまいる所存です。
内部留保の使途につきましては、優れたコンテンツの獲得、シネマ・コンプレックスの展開、所有不動産リニューアル等、中長期的展望に基づきグループ収益基盤の強化に当てまいります。

1株当たり配当金の推移



Investor Information

株式情報（平成24年2月29日現在）

株式の状況

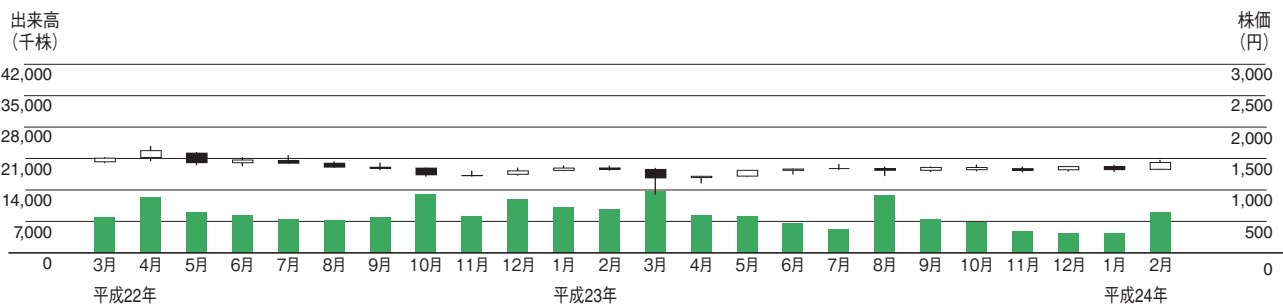
発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	188,990,633株 (自己株式3,324,649株を含む)
株主数	30,551名 (前期末比 1,961名減少)

大株主（上位10名）

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
	(千株)	(%)
阪急阪神ホールディングス株式会社	22,807	12.28
阪急不動産株式会社	15,150	8.16
エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社	13,664	7.35
ステートストリートバンク アンドトラストカンパニー	4,948	2.66
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	4,940	2.66
株式会社TBSテレビ	4,521	2.43
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	3,969	2.13
株式会社電通	3,779	2.03
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社（信託口）	3,622	1.95
株式会社丸井グループ	3,223	1.73

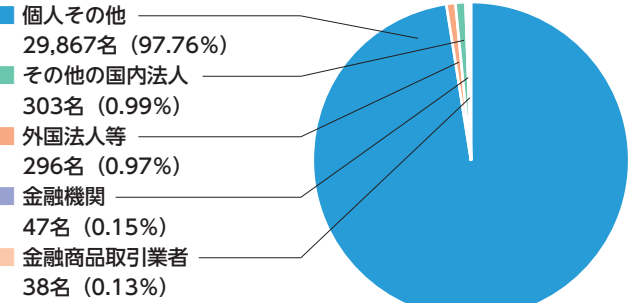
(注) 1 上記のほか、当社は自己株式を3,324,649株保有しております。
2 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株価・出来高の推移

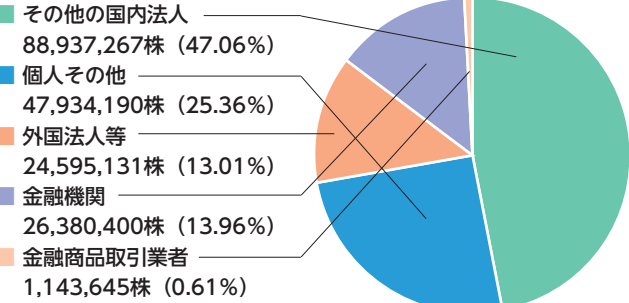


所有者区分別株式分布状況

株主数



株式数



Corporate Data

会社概要

会社概要（平成24年2月29日現在）

会社名	東宝株式会社
設立	昭和7年8月12日
資本金	10,355,847,788円
従業員数	377名 但し、嘱託14名、出向受入者29名を含み、 出向者104名を含みません。
本社	東京都千代田区有楽町一丁目2番2号
支社	関西（大阪）
スタジオ	東京 世田谷（成城）
演劇直営劇場	本社直轄2劇場（帝国劇場、シアタークリエ）
その他の営業所 （主な賃貸ビル）	有楽町センタービル（通称有楽町マリオン） 東宝日比谷ビル（通称日比谷シャンテ） 東京宝塚ビル 東宝シアタークリエビル HEPナビオ 東宝南街ビル
主な事業内容 映画	映画の製作、売買及び賃貸借、 テレビ放送番組等の制作及び販売、 映画のパフレット及びビデオソフトの製 作並びに販売、商品化権に関する事業、 その他
演劇 不動産経営	演劇の企画、製作及び興行 土地・建物の賃貸借、その他

役員（平成24年5月24日現在）

代表取締役 取締役社長	島谷 能成	映像本部長 内部監査室直轄
代表取締役 取締役副社長	千田 諭	映像本部統括兼同映画営業、 同国際各担当
専務取締役	中川 敬	不動産経営、スタジオ各担当
専務取締役	増田 憲義	演劇担当
専務取締役	高橋 昌治	人事、総務各担当 兼経営企画管掌
常務取締役	浦井 敏之	経理財務、情報システム各担当 兼特定取締役
取締役	角 和夫	阪急阪神ホールディングス株式会社 代表取締役社長
取締役	石塚 泰	人事担当補佐
取締役	太古 伸幸	経営企画担当兼経営企画部長
取締役	新坂 純一	映像本部宣伝、同映像事業各担当
取締役	山下 誠	不動産経営担当補佐兼 スタジオ経営担当補佐
取締役	市川 南	映像本部映画調整、 同映画企画各担当兼同映画調整部長
取締役	瀬田 一彦	TOHOシネマズ株式会社 代表取締役社長
常勤監査役	村上 主税	監査役会議長兼特定監査役
常勤監査役	沖本 友保	
監査役	大西昭一郎	弁護士
監査役	小林 節	株式会社パレスホテル 代表取締役社長

株主メモ

事業年度 3月1日～翌年2月末日
定時株主総会 5月中
配当金受領株主確定日 期末配当金 2月末日
中間配当金 8月31日
基準日 定時株主総会 2月末日
その他必要あるときは、あらかじめ公告して
臨時に基準日を定める。
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711（通話料無料）
※特別口座に関する変更届等用紙のご請求は
電話 0120-244-479（通話料無料）
インターネットホームページ
http://www.tr.mufg.jp/daikou/
http://www.toho.co.jp/toho_ir/
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電
子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載す
る方法によって公告いたします。

●表紙のご紹介
映画「あなたへ」8月25日（土）より全国ロードショー
主演：高倉 健 監督：降旗 康男

〒100-8415
東京都千代田区有楽町一丁目2番2号
東宝株式会社
総務部 電話 (03) 3591-1214
http://www.toho.co.jp

株主優待

株主カード及び株主映画ご招待券交付基準

ご所有株数	株主カード貸与枚数		株主映画ご招待券発行 シート数（半年につき）（※）
	ご本人カード	ファミリーカード	
1,000～1,999株	1枚	0枚	1シート
2,000～2,999株			2シート
3,000～4,999株			3シート
5,000～9,999株		1枚	6シート
10,000～19,999株		2枚	10シート
20,000～29,999株			15シート
30,000～49,999株			20シート
50,000～99,999株			25シート
100,000株以上		3枚	30シート

- ・株主映画ご招待は、株主カードと株主映画ご招待券を映画館チケット売場等
でご提示いただき、双方に記載された優待番号が一致したとき、ご利用いた
だけます。
- ・株主カードの発行は、原則として初回のみ、5月下旬または11月中旬となり
ます。
- ※株主映画ご招待券1シートは、指定2ヶ月間通用券×6枚となります。
2月末日現在の株主に5月下旬に発行：6・7月、8・9月、10・11月通用各2枚。
8月末日現在の株主に11月中旬に発行：12・1月、2・3月、4・5月通用各2枚。

株主映画ご優待券交付基準（800円で映画をご覧いただけます）

100～499株	半年 2枚	500～999株	半年 8枚
----------	-------	----------	-------

2月末日現在の株主に6月から11月まで半年間通用の券を5月下旬に発行。
8月末日現在の株主に12月から翌年5月まで半年間通用の券を11月中旬に発行。

株主優待制度についての詳細は、当社ホームページ「会社情報」「株主優待」を
ご覧ください。



適切に管理された森林資源を用紙
の材料にしています。



VOC（揮発性有機
化合物）の発生の
少ない、ベジタブル
インクを使用し
ています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。